



< ニュースリリース >

2007年2月19日

各位

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中富一郎
問合せ先: 社長室室長代理
松田拓也
電話番号 03-3548-0213
E-mail info@nanocarrier.co.jp

基盤研の平成18年度新規採択研究テーマに当社のテーマが採択されました

独立行政法人医薬基盤研究所「医薬品・医療機器実用化研究支援事業(委託事業)」平成18年度新規採択研究テーマに、当社の「新規プラチナ系高分子ナノ粒子製剤の固形がん治療薬としての開発」が採択されました

この事業は、保健医療の向上に資する画期的な医薬品・医療機器の開発を促進することを目的として、民間における実用化段階の研究開発に公的な資金を委託方式(いわゆるバイ・ドール方式)で提供することを目的とし、平成16年度より開始されたものです。平成18年度は30件の応募案件が、外部の専門家からなる実用化研究評価委員会において評価され、独立行政法人医薬基盤研究所が、収益の可能性がある場合に限定して採択を決定し、最終的に当社の案件を含め4件のテーマが採択されました。

平成18年度 医薬品・医療機器実用化研究支援事業 新規採択研究テーマ

研究テーマ名	企業名	配分予定額 (単位:百万円)	研究の要旨
新規プラチナ系 高分子ナノ粒子 製剤の固形がん 治療薬として の開発	ナノキャリア 株式会社	120	プラチナ製剤はがん化学療法で最も重要な薬剤の一つであるが、毒性も強い使用が制限されることも多い。抗癌剤であるシスプラチンを高分子ナノ粒子に封入して形成されたナノ粒子である本剤は、長時間血液中に留まりながらプラチナ化合物を放出する。この結果、治療の標的である腫瘍への薬剤の集積が高まると共に、副作用を招く腎臓、神経等への分布が少なく毒性が軽減できる。本実用化研究では、この性質を利用して、現存のプラチナ製剤よりも有効性、安全性、利便性に優れた製剤を開発し、臨床現場に提供することを目標とする。

詳しくは独立行政法人医薬基盤研究所ホームページをご覧ください。
<http://www.nibio.go.jp/shinko/H18saitaku.html>

*この製剤の基本技術は東京大学の片岡教授らによって発明されたもので、当社は株式会社東京大学 TLO からライセンスを受けております。

以上